

愛難連

URL <http://www.ainanren.org/>

第 118 号

発行人

NPO法人愛知県難病団体連合会

〒453-0041

名古屋市中村区本陣通 5-6-1

地域資源長屋なかむら 101

TEL 052-485-6655

FAX 052-485-6656

E-Mail:ainanren@true.ocn.ne.jp

●令和5年度愛知県難病団体連合会 大会を開催します（9月3日・日）

～ICTを使った医療・介護連携と災害対策～

●薬局薬剤師による居宅療養における 在宅生活の向上支援について

株式会社 スギ薬局 在宅調剤センター半田店

薬剤師 奥田 佳苗 様からのご寄稿

●難病カフェ(10月14日13:00～)に参加ください

令和5年度愛知県難病団体連合会大会を開催します…………… P 2 ～ P 3

薬局薬剤師による居宅療養における在宅生活の向上支援について

株式会社 スギ薬局 在宅調剤センター半田店

薬剤師 奥田 佳苗 様からのご寄稿…………… P 4 ～ P 7

令和5年度愛難連通常総会議事録…………… P 8 ～ P 9

愛知県・名古屋市の障害者施策計画改定に向けての

協議会に愛難連として参加しています…………… P 10

10月14日（土）難病カフェに参加ください …………… P 11

愛知人権連合との共同による令和5年度愛知県への要望…………… P 12

愛知県医師会・難病相談室のご案内広告…………… P 12

広告 GAROHOME 鶴舞 アステラス製薬

パリアティブケアホーム スギ薬局…………… P 13～ P 15

愛知県難病団体連合会 第50回大会

参加費

無料!

参加申込不要

ICT

を使った

医療・介護連携と災害対策

2023年9月3日(日)

13:30~15:30



参加対象 難病患者・家族、支援者、一般の方

会場 東別院会館ホール
〒460-0016 愛知県名古屋市中区橘2

講演会

1

ICT を使った医療・介護連携と災害対策

野田 正治 先生
愛知県医師会副会長
野田内科小児科医院院長

講演会

2

在宅での神経難病の利用者様に対する 訪問看護ステーションの関わり ～進行に沿った多職種連携と福祉用具の提案について～

神田 雄生 先生
柘訪問看護ステーション・リハビリテーション部 部長
ナーシングデイ柘 センター長

ブース出展 「訪問薬剤師によるお薬相談会」(出展:スギ薬局)



お問合せ先

愛知県難病団体連合会事務局 (牛田・重松)

〒453-0041 名古屋市中村区本陣通 5-6-1
地域資源長屋なかむら 101

TEL 052-485-6655 FAX 052-485-6656

E-Mail ainanren@true.ocn.ne.jp

主催 NPO法人愛知県難病団体連合会

後援 (依頼先) 愛知県、名古屋市、愛知県医師会、愛知県共同募金会、中日新聞社、中日新聞社会事業団、東海テレビ福祉文化事業団、中部善意銀行、愛知難病救済基金、愛知県医療ソーシャルワーカー協会、愛知県理学療法士会、愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会



本大会は赤い羽根共同募金の配分を受けて実施しています

N P O 法人 愛知県難病団体連合会

第 50 回定期大会 次第

13 : 30～14 : 00 理事長挨拶

来賓挨拶 愛知県医師会 柵木充明会長 様
(代読 野田 正治 副会長)

来賓紹介 (愛知県・名古屋市・議員の皆さん など)

14 : 00～14 : 10 休憩

14 : 10～15 : 30

大会記念講演 1

I C T を使った医療・介護連携と災害対策

講師 野田 正治 先生
愛知県医師会副会長
野田内科小児科医院院長

大会記念講演 2

在宅での神経難病の利用者様に対する訪問看護ステーションの関わり
～進行に沿った多職種連携と福祉用具の提案について～

講師 神田 雄生 先生
終訪問看護ステーション・リハビリテーション
部 部長
ナーシングデイ終 センター長

15 : 50 閉会挨拶

ご後援 (依頼先)

愛知県、名古屋市、愛知県医師会、愛知県共同募金会、中日新聞社、
中日新聞社会事業団、東海テレビ福祉文化事業団、中部善意銀行、
愛知難病救済基金、愛知県医療ソーシャルワーカー協会、
愛知県理学療法士会、愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会

本大会は赤い羽根共同募金の配分を受けて実施しています。

「薬局薬剤師による居宅療養における在宅生活の 向上支援について」

株式会社 スギ薬局 在宅調剤センター半田店
薬剤師 奥田 佳苗

はじめに

病院の門前薬局から地域にある薬局への転換が求められる中、在宅療養に関わる薬局は年々増加しており、薬剤師が患者さん宅を訪問して薬の説明や管理をするケースも増えてきています。

在宅療養において薬局は、医薬品の供給、医療材料・衛生材料の提供、医療機関、地域の医療・介護事業者との連携など、様々な機能が求められていますが、薬局の設備や人材に差がでてきているのも事実です。薬局によっては在宅療養に貢献できない現状もあります。以前に比べて薬局の薬剤師による在宅訪問は広がってきているものの、まだまだ介入タイミングが遅かったり、退院時カンファレンスへの声掛けがなかったり、患者さんがご自宅に戻ってきてから依頼をいただくケースが多いのが実際です。しかし、予後を見越した早期からの在宅訪問薬剤師の介入は非常に重要であると日々感じています。

今回は、在宅療養において難病患者さんに対する薬局薬剤師による支援の実際を私たちが担当した一症例について報告させていただきます。

症例：筋萎縮性側索硬化症（amyotrophic lateral sclerosis：ALS）患者さんの在宅支援

ALSは、身体を動かすための神経系（運動ニューロン）が変性する進行性の病気であり、日本における患者数は約1万人とされています。在宅で終末期を過ごすことになった場合の薬局に求められる役割は大きく、薬を届け、指導するのはもちろん、以下のような点に関しても在宅訪問薬剤師としての介入のポイントがあります。

① 呼吸苦緩和のための携帯型ディスポーザブルポンプへの医療用麻薬の無菌的充填と、訪問看護との協働指導

症状の進行とともに呼吸苦症状がみられるようになると、呼吸苦改善のために麻薬導入に至ります。麻薬導入時には薬剤師がクリーンベンチを用いて無菌調剤を行い、感染リスクを抑えた調剤を実施してから、ご自宅にお届けします。

（携帯型ディスポーザブルポンプ＝麻薬などを定速で静注するバルーン入りのシリンジ）



ディスポーザブルポンプの調剤



ディスポーザブルポンプの使用例

初めて携帯型ディスポーザブルポンプを扱う訪問看護師であっても安心して処置できるよう、訪問看護師と同席し、協働で穿刺部の確認や器具の確認・薬液の残数の見方の指導を実施することが多いです。もちろん介護するご家族にも、ポンプの扱いやレスキュー使用方法などの指導を実施し、苦痛症状発現時に備える指導を実施します。症状の悪化前から薬剤師が介入する意味はここにあります。麻薬導入に至るタイミングではご家族も病態が徐々に悪化していく様子に不安を感じています。その不安の最中で、初めて扱う物品に混乱を招かないよう配慮した指導の実施が求められます。この時、ご本人・ご家族と薬剤師が関係性を築けていることで、指導時の受け入れ方・対応や理解が変わってきます。冒頭で述べたように、在宅で終末期を迎える可能性がある場合にはできるだけ早期からの薬局薬剤師の介入が重要であると感じています。

② 効果のアセスメント（評価）と提案の発信

ALS の患者さんや終末期の患者さんにかかわらず、在宅訪問薬剤師は薬学的アセスメントを実施し、次の処方に反映できるようサポートしていく役割を担っています。在宅訪問時に行った指導内容は医師、訪問看護師、ケアマネジャーに共有し、薬剤師の視点を活かした提案を行っています。

- ・服用回数が多く、自分で薬の準備をするのが大変
 - ヘルパーが入る昼食後と、ご家族が帰ってくる寝る前に服用時点をまとめる
- ・嚥下機能が落ち始めており、誤嚥が心配
 - 降圧剤を誤嚥性肺炎予防に効果が期待されるACE阻害剤に変更する
- ・唾液分泌過多で苦痛症状がある
 - 薬の副作用を利用し唾液分泌が抑制できるよう、抗コリン薬の導入の提案する

最近になって、ALS 治療薬は点滴だけでなく内服薬が発売され、在宅生活を送りながら治療しやすくなったり、新薬の開発も進められていたり、様々な動きを見せています。薬の専門家である薬局薬剤師が在宅介入する事で、最新の薬の情報を取り入れながら個々人に合わせた医療の提供をかなえることができると感じています。

まとめ

今回の症例では ALS の患者さんについて触れましたが、他の難病の患者さんでも同様に薬剤師の早期介入により課題解決や QOL 改善に導ける事例も多く経験しました。医療依存度の高い方も多く、本人だけでなく家族支援も視野に入れた薬剤提供・指導の必要があり、さらには生活を考慮した視点を持って実施する薬学的アセスメントにより患者さんの QOL 向上に寄与する事が、在宅訪問薬剤師としての責務だと考えています。

そこには、多職種の見点や意見も欠かせません。薬剤師としての視点だけに囚われないよう多職種からのアドバイスもいただきながら協働で在宅生活を支援していく事で、難病の患者さんそれぞれにとって最善の安心安全な在宅医療を提供できると感じています。

皆さんの周りには在宅訪問薬剤師の介入が必要な患者さんはいますでしょうか。もし、介入が必要な方がいらっしゃれば、早期に介入する事の重要性を認識いただき、ぜひ近隣の薬局薬剤師に声掛けをして一緒にサポートできる体制づくりを進めていただきたいと思います。在宅訪問薬剤師の機能をご理解いただき、そこから一人でも多くの患者さんの QOL 向上に貢献できれば幸いです。

【スギ薬局の在宅訪問薬剤師所属店舗一覧】

無菌 調剤	店舗名	郵便 番号	住所	T E L 番号
○	在宅調剤センター 下地店	440- 0083	愛知県豊橋市下地町操穴 39 番地 3	0532-21-9235
○	在宅調剤センター 安城店	446- 0021	愛知県安城市法連町 7 番地 10	0566-45-7525
-	在宅調剤センター 西三河店	446- 0026	愛知県安城市安城町東広畔 9 番地 1	0566-70-9272
-	在宅調剤センター 中川店	454- 0972	愛知県名古屋市中川区新家三丁目 1410 番地 第一村上ビル 1 階	052-526-7365
○	在宅調剤センター 名古屋緑店	458- 0910	愛知県名古屋市長区桶狭間森前 2903 番地	052-618-6512
○	在宅調剤センター 名古屋金山店	460- 0024	愛知県名古屋市中区正木四丁目 5 番 9 号 ナーシングホーム OASIS 金山 1 階	052-265-9712
-	在宅調剤センター 車道店	461- 0004	愛知県名古屋市東区葵二丁目 14 番 11 号	052-325-3871
○	在宅調剤センター 名古屋北店	462- 0033	愛知県名古屋市北区金田町三丁目 14 番地 1	052-325-7856
○	今池南店	464- 0851	愛知県名古屋市千種区今池南 1 番 13 号	052-715-6036
-	在宅調剤センター 原店	468- 0015	愛知県名古屋市天白区原五丁目 3006 番地 パルナス原 1 階	052-842-9350
-	在宅調剤センター 宮町店	471- 0043	愛知県豊田市宮町五丁目 53 番地	0565-47-0705
○	在宅調剤センター 半田店	475- 0911	愛知県半田市星崎町三丁目 37 番地 の 1 星崎ビル 1 階	0569-84-2381
-	在宅調剤センター 一宮店	491- 0869	愛知県一宮市向山町二丁目 8 番地 2 東海向山ハイツ 1 階	0586-64-6241

令和5年度愛難連通常総会 議事録

日 時 令和5年6月10日(土) 10:00~12:00

会 場 地域資源長屋なかむら会議室

参加者 対面参加8人、オンライン参加7人でした。

委任状 15通 で成立・開催しました。

議長 下前理事長

議事録署名人 角田洋子さん、水野敏子さん を選出しました。

提案した議案書、令和4年度事業実施報告書、令和5年度事業計画書、令和4年度歳出歳入決算書、令和5年度歳入歳出予算書は承認されました。

当日は各患者会の活動報告(厚労省交渉・ZOOM活用してのオンラインイベント開催など)や、以下の意見などをいただきました。

- ・機関紙を紙媒体だけでなく、データ送信するなど工夫してはどうか。
- ・難病カフェの地方開催は、地方の患者・家族の参加拡大にもつながるので進めてほしい。
- ・難病患者・家族がサポートいただいている専門職・団体などとの連携は強めてほしい。
- ・名古屋市のタクシーチケット1乗車複数枚利用できるように進めてほしい。
- ・福祉施設等の広告掲載などにも努力してほしい。

パソコン1台だけのハイブリッド開催で不十分さは残りましたが、皆様のご協力により総会を成功させることができました。

令和5年度愛知県難病団体連合会通常総会議案

令和4年度取り組みの概要

- 難病法見直しが行われました。
- JPA2023国会請願署名にとりくみました(約18000筆)
- 特定医療費受給者証で、愛知県施設の利用料金等の減免が受けられるようになりました
- 11月4日に愛知県・名古屋市への要望書を提出し、名古屋市から12月13日付けで令和4年度愛難連要望への回答いただきました。
- 令和5年2月に「愛知県循環器病対策推進協議会」に関する要望書を提出しました。
- 名古屋市に障害者タクシー券複数枚利用の上限設定について意見提出しました。
- 9月19日予定していた第49回大会「難病患者の防災対策」は台風の影響により中止しました。講師の先生のお願いで動画作成し、あいなんれんチャンネルにアップしました。
- 愛知心臓病の会との共催で障害者手帳取得に向けての学習会を開催しました。
- 第1回ピアサポーター養成講座同窓会を7月17日に開催しました。(13人参加)
- ピアサポーター養成講座にとりくみました。(実参加者は延べ57名)
- 難病カフェを再開しました。

- RDD2023 にとりくみました。(50 人を超える来場者)
- 専門職・団体への訪問・懇談活動を続けました
愛知県医療ソーシャルワーカー協会、愛知県理学療法士会、愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会、一宮西病院・山口啓二先生、江南厚生病院神経内科・岩瀬敏先生、結ファミリークリニック鈴木欣宏先生、医療法人敬寿会・安井内科・安井直先生、愛知県歯科医師会地域保健部（高齢者・障害者）部長・富田健嗣先生、かすもり・オシムラ歯科押村憲昭先生とも懇談させていただきました。懇談内容は難病患者のサポート・連携などでした。
- 中村区・大府市での「地域連携」の具体化にむけて努力しました。
- 犬山成田山「索の会」様から激励金いただきました。(6 団体で 950,000 円)
- 愛知難病救済基金から補助金いただきました。
- 賛助会員拡大にむけてとりくみました。
- 夏のそうめん販売・冬のうどん販売にとりくみました。
- ANG 発送の第 3 種郵便物利用を中止し、DM 発送代行企業を利用するようにしました。

議事

- 1 事業報告（別紙参照）及び決算（添付資料参照）
- 2 事業計画（別紙参照）及び予算（添付資料参照）
- 3 運営に関する重要事項
 - ① 大会を開催します。(別紙参照)
と き 未定
ところ 東別院会館ホール（予定）
テーマ 難病患者の在宅療養（仮称）
 - ② ピアサポーター養成講座、難病カフェを実施し、難病カフェの各地開催を検討します。
 - ③ 専門職の皆さんとの連携、交流の活発化に努力します。
 - ④ RDD2024 in あいちに取り組みます。
 - ⑤ JPA 国会請願署名、愛知県・名古屋市への要望提出に取り組みます。
 - ⑥ 令和 5 年度名古屋市希少疾患講演会事業受託をめざします。
 - ⑦ 賛助会員の拡大をめざします。
 - ⑧ 愛難連の事業継承に備えるためにも「自主財源」（事務局経費財源）確保に取り組みます。

機関紙に掲載する「広告」募集、夏のそうめん、冬のうどん販売など

今期の主な日程（予定）

0408（土）	10：00～	愛難連第 1 回理事会（ZOOM）
0610（土）	10：00～	愛難連通常総会（第 2 回理事会は中止）
0805（土）	10：00～	愛難連第 3 回理事会（ZOOM）
9 月		愛難連大会（予定）
1014（土）	10：00～	愛難連第 4 回理事会（ZOOM）
1209（土）	10：00～	愛難連第 5 回理事会（ZOOM）

2024 年

0210（土）	10：00～	愛難連第 6 回理事会（ZOOM）
2 月		ピアサポーター養成講座
3 月		RDD2024 in あいち

愛知県・名古屋市の障害者施策計画改定に向けての協議会に愛難連として参加しています

愛知県や名古屋市は、障害者権利条約（2014）、障害者差別解消法（2016）などに基づき、「障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会」を目標に掲げ障害者施策（計画）をすすめてきました。

その後も、「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」、「医療的ケア児支援法」「読書バリアフリー法」などが新たに制定されました。また、「社会福祉法」が改正されたほか、「障害者総合支援法」「精神保健福祉法」、「障害者差別解消法」、「バリアフリー法」、「児童福祉法」、「災害対策基本法」などの改正も行われました。

さらに、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す世界共通の目標であるSDGsの推進や、アジア競技大会・アジアパラ競技大会（2026）の開催に向けた施設改修などが進められています。

こうした中で、障害者施策（計画）に、障害当事者の意見・要望を反映させるための各種協議会などが開催されています。愛難連からも委員として参加しています。

愛難連として以下のような発言しています

- ・ 難病法改正に伴う「登録者証」など法改正に対応してほしい
例：法改正に明記されている難病「登録者証」への対応も「計画」に明示してほしい
- ・ 難病患者の病状が「進行する」「波がある」という特性を理解していただき、身体・精神・知的の障害の方と同じようにサポートを受けられるようにしてほしい
例：愛知県の公共施設利用料、スポーツ施設の電源確保など
- ・ 難病患者のコミュニケーション支援を強化してほしい
例：専門性の高い意思疎通支援を行うものの養成・派遣事業に呼吸器装着者（ALS等難病患者、医療的ケア児）のコミュニケーション支援については事業そのものがないので新設してほしい
- ・ 難病患者の就労促進につながるようにしてほしい
例：あいち障害者雇用サポートデスクでの事業に難病についてのイベント・セミナーなどの開催を加えて、難病についての理解・啓発を進め、就労につながる「合理的配慮」が、特別なことでなく、普通に行われるようにしてください。
- ・ 医療用電気機器に使用するバッテリーなどの購入補助を拡大してほしい
例：健康・疾病という枠組みだけでなく、防災（災害多発による広範囲・長時間も停電に対応するため…）という面も含めた対応してほしい
- ・ 在宅療養をサポートするヘルパー不足を改善してほしい
例：制度はあってもそれを担えるヘルパー不足は深刻であり、厳しくなっています
- ・ タクシーチケットの1乗車複数枚数使用に改善してほしい など

10月14日(土) 13:00~15:00 難病カフェに参加ください

難病患者・家族、サポートいただいている方、
ピアサポートで悩みを抱えている方、
お気軽に参加ください。(参加費無料です)



開催日

偶数月第2土曜日(原則) 13:00~15:00
12月9日(第2土)、2月10日(第2土)

オンライン(ZOOM)参加が基本です

→ 申込が必要です(申込はメールでお願いします)

ainanren@true.ocn.ne.jp まで

申し込まれた方に、後日 ZOOMURL をお送りします

- 1 氏名、2 メールアドレス、3 電話番号、
- 4 交流したい「お題」をお知らせください。

会場での参加もできます(来ていただける方は)

→ 会場での PC 共同視聴となります

会場は 愛難連事務所前オープンスペース

名古屋市中村区本陣通 5-6-1 地域資源長屋なかむら 101

交流したい「お題」があれば事前にご連絡ください

第7回難病カフェ(8月5日)の報告

13人の方に参加いただきました。いただいた「お題」は「難病患者の就労」「治療と仕事の両立」「地域のコンパクトカフェ」「生きがい」など多岐にわたりましたが「就労」を中心に交流しました。「安心・安全にお話ができる場の提供ができればよい」などと交流ができました。

難病カフェの各地開催も検討していきます

当面、一宮での開催をめざして努力していくこととしました。
多くの方のご協力をお願いしていききたいと思います。

愛知人権連合との共同による令和5年度愛難連の愛知県への要望

1 難病患者の孤独・孤立対策の実施状況をお知らせください

昨年度「難病患者の特性を踏まえた、難病患者を対象者として明示した、愛知県の孤独・孤立対策に関する事業実施をお願いします」との要望しましたが、令和5年度の「保健医療局 孤独孤立に関する事業」に「難病患者地域ケア推進事業」があげられていました。ありがとうございました。

事業の概要（目的、事業内容等）

保健所保健師が家庭訪問や面談を行うとともに、医療相談や患者家族教室の開催をとおして、保健所を核とした地域支援ネットワークの確立を図り、難病患者の在宅ケアを推進する。

難病患者においても、核家族化から老々介護へ、さらに孤独・孤立という傾向が強まっていると思われます。

この事業が行われる中で、どのような実態・要望が寄せられ、どのような改善につながられたのかをお知らせください。

2 難病患者であることに起因する就労への差別をなくしてください

企業の採用担当が「難病の事はよくわからない」として、無理解により難病患者が採用を見送られる事例があります。あいち障害者雇用サポートデスクでの事業に難病についてのイベント・セミナーなどの開催を加えて、難病についての理解・啓発を進め、就労につながる「合理的配慮」が、特別なことでなく、普通に行われるようにしてください。

☆愛知県医師会・難病相談室のご案内☆

病気が長期にわたり、原因が不明、治療法が未確立というような疾患にお悩みの患者・家族の皆様にも、広くご利用いただくよう難病相談室を常設いたしております。治療や療養生活をはじめ、病気になったことで生ずる社会生活上の問題、例えば経済的な心配や職場復帰、学校生活、家庭生活、人間関係等のご相談にも応じています。お困りの方は、どうぞお気軽にご照会くださるよう申し上げます。

難病相談室は、愛知県における「難病相談・支援センター」としての役割を担い、相談事業を始めとし、各種事業を行っています。なお、詳細は下記へお問い合わせください。

（相談は無料、秘密は厳守されます）

◆相談医師（専門別）による医療相談

指定日の午後2時～5時（予約制）

対象疾患：①神経 ②感覚器（耳鼻・眼） ③膠原病 ④腎臓 ⑤循環器 ⑥消化器
⑦呼吸器 ⑧内分泌・代謝 ⑨血液 ⑩小児 ⑪骨・関節 ⑫心身
⑬血管外科 ⑭脳内外科

◆医療ソーシャルワーカーによる療養相談・生活相談

月曜日～金曜日 午前9時～午後4時まで

◆難病相談室の所在地＝愛知県医師会館・2階

名古屋市中区栄4丁目14番28号 TEL (052) 241-4144

「がん・難病」緩和ケア専門施設 GARO HOME 鶴舞

「私らしく、あなたらしく」生きていくご支援をいたします。



施設名：住宅型有料老人ホーム GARO HOME 鶴舞

施設住所：愛知県名古屋市昭和区鶴舞 2 丁目 12-24

【お問い合わせ先】 GARO 株式会社（ガロ カブシキカイシャ）

〒467-0813 本社：名古屋市瑞穂区西ノ割町 2 丁目 32 番地の 1

【 GARO HOME でわかる 6 つのこと 】

1. 鶴舞駅近くでご家族もお越ししやすい環境
2. 全室 60 室個室（18㎡）トイレ、洗面所付
3. 訪問看護師 24 時間複数名常駐
4. 緩和ケアとリハビリからその人らしい生活を
5. 低料金で、料金をバリアフリー化
6. 助成制度のご案内・制度取得の積極的支援

【大切にしたいこと】

1. テクテク（動く、歩く等の動きを大切にします）
2. パクパク（しゃべったり、食べたりを大切にします）
3. ワクワク（楽しい気持ちを大切にします）
4. ニコニコ（痛みや苦しみなく、心から笑顔を）
5. ドキドキ（ときめく気持ちを大切にします）
6. イキイキ（イキイキできるようご支援します）



アステラス製薬は

“患者会支援活動”に取り組んでいます。

患者会活動を個面から、幅広くお手伝いするため、

2006年4月より社会貢献活動として取り組んでいます。

- 公募制活動資金助成 - ビアサポート研修

詳しくはホームページでキーワードで検索してください。

アステラス 患者会支援

検索

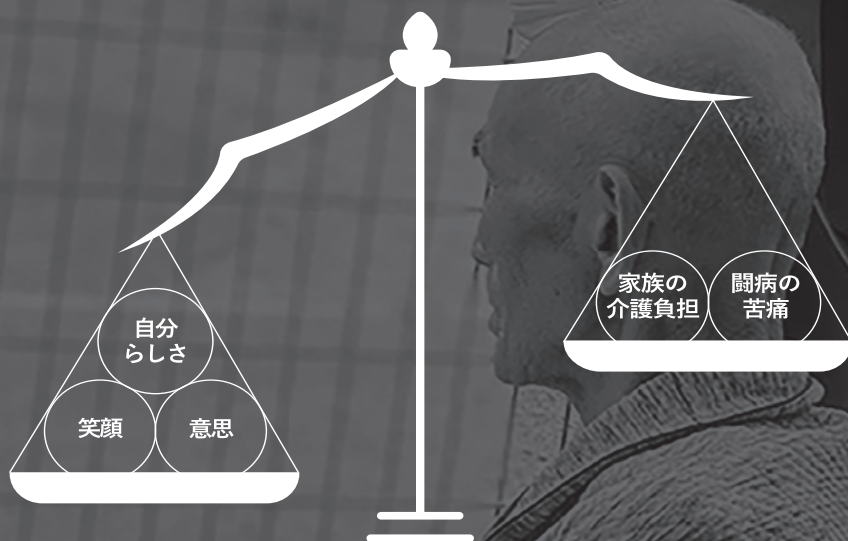
【お問合せ先】アステラス製薬 患者会支援担当 電話番号 03-3244-5110

明日は変えられる。

 **astellas**
アステラス製薬

www.astellas.com/jp/

苦痛も負担も軽い方がいい。



要介護期を過ごすご本人の苦痛を緩和したい。
要介護期を支えるご家族の苦悩を解消したい。

その思いを実現させるため、パリアティブケアホームでは、24時間体制の訪問看護ステーションを併設し、多様な傷病や医療挿入物・医療処置に対応しています。各ホームで蓄積されたノウハウで、要介護期ケアに定評をいただいております。ご本人様らしい介護・看護の実現に努めています。



要介護期が幸せな場所

パリアティブケアホーム®

*全施設、土地・建物はオーナー様よりの賃貸物件です。



パリアティブケアホーム
ブランドサイトはコチラ

<https://palliative-care-home.com/>

パリアティブケアホームそらの春日井

〒486-0932
愛知県春日井市松河戸町3丁目8番地7
TEL：0568-37-3355
種別：サービス付き高齢者向け住宅

パリアティブケアホームつきの小牧

〒485-0041
愛知県小牧市小牧5丁目315番地
TEL：0568-54-3891
種別：住宅型有料老人ホーム

パリアティブケアホームはなの楠根

〒577-0006
大阪府東大阪市楠根3丁目2番41号
TEL：06-7711-8165
種別：サービス付き高齢者向け住宅

パリアティブケアホームゆきの彩都

〒567-0085
大阪府茨木市彩都あさぎ5丁目10番10号
TEL：072-640-5960
種別：サービス付き高齢者向け住宅

パリアティブケアホームほしの岸和田

〒596-0001
大阪府岸和田市磯上町1丁目3番29号
TEL：072-438-1565
種別：サービス付き高齢者向け住宅

運営

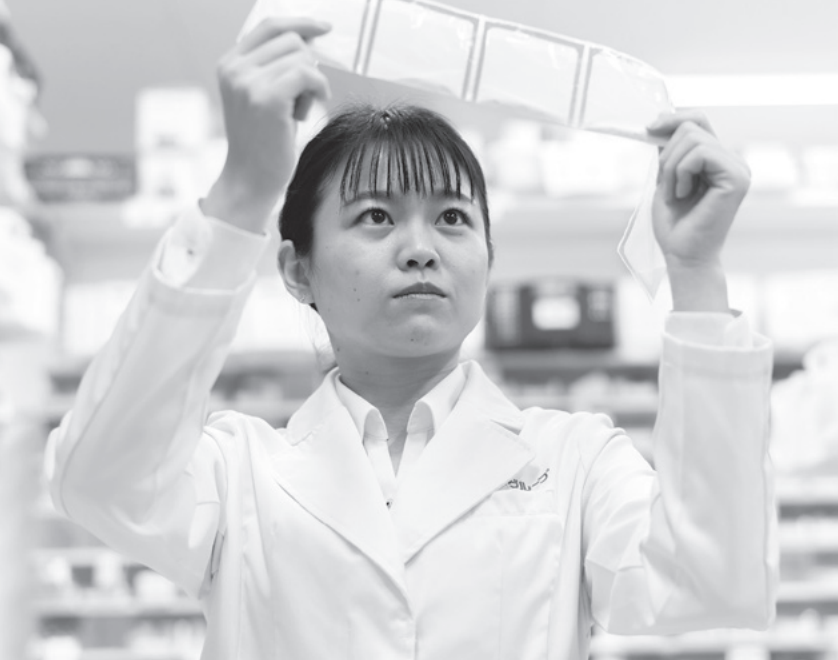


opsol 株式会社

〒519-0503 三重県伊勢市小俣町元町623番1
TEL：0596-21-0007

<https://opsol.co.jp/>

opsolグループ 検索



専門性の高い 薬剤師が 活躍しています

- 外来がん治療認定薬剤師
- 外来がん治療専門薬剤師
- 緩和薬物療法認定薬剤師
- 老年薬学認定薬剤師
- NST専門療法士
- 腎臓病療養指導士



関東・中部・北陸・信州・関西に出店エリア拡大中!

グループ合計 **1,600** 店舗突破!



在籍薬剤師数 **3,688**人

(2023年2月末現在)

地域連携薬局 **31**店舗

専門医療機関連携薬局 **3**店舗

医療モール・医療機関併設 **116**医療機関

(2023年6月末現在)



スギ薬局

詳しくはHPをご覧ください。
<https://www.sugi-hd.co.jp/>

スギHD

検索



〒474-0011 愛知県大府市横根町新江62番地の1 TEL 0562-45-2700

愛 難 連 の 難 病 相 談

電話連絡先 : 052-485-6655
FAX : 052-485-6656 (FAXは24時間)
相談日: 月曜日～金曜日 10:00～16:00

～ あなたの声を聞かせてください ～

愛難連では、難病患者さんやそのご家族の方々が、住み慣れた場所で安定した療養生活を送っていただけるように、保健・医療・福祉等の関係機関と連携を図りながら活動しています。
私達は、患者同士の「支え合い」「助け合い」を重視しており、そのきっかけをお手伝いすると共に、その輪を社会へと広げ、より良い社会生活を送れるように努めています。一人で悩まず、お気軽にお電話下さい。あなたの声が、同じ病気で苦しむ仲間の力になるかも知れません。

《 加盟団体一覧 》

全国筋無力症友の会 愛知支部

(TEL・FAX) 0569-22-5122 小林宅

一般社団法人 愛知県腎臓病協議会

(TEL) 052-228-8900 事務所

愛知県筋ジストロフィー協会

(TEL) 080-2613-9022 大島宅

日本二分脊椎症協会 東海支部

(Mail) happi-sbaj@memoad.jp

全国パーキンソン病友の会 愛知県支部

(TEL) 052-622-9585 深谷宅

愛知県肝友会

(TEL) 0568-82-7492 水上宅

愛知心臓病の会

(TEL) 090-5631-1678 牛田宅

愛知低肺機能グループ

(TEL・FAX) 052-872-3559 近藤宅

ベーチェット病友の会 愛知県支部

(TEL) 0564-74-1611 森田宅

つぼみの会愛知・岐阜 愛知支部(1型糖尿病)

(Mail) <https://www.aichi-gifu.iddm.jp/> 問合せ

日本 ALS 協会愛知県支部(筋萎縮性側索硬化症)

(TEL・FAX) 052-483-3050 事務所

愛知県網膜色素変性症協会(JRPS愛知)

(TEL) 090-7956-1070 新井宅

口唇口蓋裂を考える会(たんぽぽ会)

(TEL) 090-7048-1387 横田宅

東海脊髄小脳変性症友の会

(TEL) 0564-45-4801 松崎宅

もやの会(もやもや病の患者と家族の会)

(TEL) 052-895-4907 奥田宅

愛知県脊柱靱帯骨化症患者・家族友の会(あおぞら会)

(TEL) 0564-31-2848 林宅

日本マルファン協会(マルファン症候群)

(TEL) 050-5532-6503 大柄宅

プラダー・ウィリー症候群児・者親の会

「竹の子の会」西東海支部

(TEL・FAX) 0562-84-0750 杉本宅

Fabry NEXT(ファブリー ネクスト)

(Mail) info@fabry-next.com

難病支援グループ P A T H

(Mail) solujunaomi@gmail.com

(20 団体 会員総数 約 8,000 名)

発行人: NPO 法人 愛知県難病団体連合会

発行所: 名古屋市中村区本陣通 5-6-1 地域資源長屋なかむら 101

電話 052-485-6655